



○ 新年度！

令和7年度、2025年度が始まりました。この「KOCHO だより」もまた新たに継続していきたいと思えます。初めて読んでいただける方がいらっしゃいますので、内容を少し説明します。

このたよりを書き始めてから13年目になります。ある学校で保護者や地域の方々へ学校を身近に感じてもらいたいとの思いからでした。内容はさまざま、学校の出来事・行事予定などをお知らせする場合、校長として生徒や保護者にお伝えしたい場合、本や新聞紙から引用する場合、時には私の単なるつぶやきの場合などあらゆるものを記述していきます。不定期刊行です。気軽に読み流してください。

私は二校を兼務しています。昨年まではそれぞれのたよりを作っていましたが、伝えたい内容は同じなのにどちらかのたよりにしか紹介できないことをもどかしく思っていました。そこで今年からは両校をまとめて一部にしました。これまでYIC調理製菓専門学校が173号、北九州調理製菓専門学校が87号となりましたので今回のものは261号とさせていただきます。

今後はYC校、KC校というふうに略して表現する場合があります。

○ ことば

ときどき引用させていただいています。朝日新聞の「折々のことば」という記事です。このたびは3月28日付のものです。この方は「大人の世界に足を踏み入れた気がした。」と表現されています。この感触は入学してきてくれた学生たちがこれからときどき感じるものではないでしょうか。「胸がときめいた。」との表現もあります。学生たちにはこんな気持ちを大切にしてみてもち続けてほしいと思います。

先日、NHKの日曜美術館という番組で百歳の工芸作家と十歳の男の子との交流が紹介されていました。九十も歳の離れた二人のやり取りに私は感動しました。作家のことばの中には「今もワクワクしています。」というものがありません。ワクワクする気持ちは人生を美しく充実させてくれると思います。私はこの内容を入学式で伝えたいと思いました。

似たような二つの記事・番組に続けて出会っておもしろいなと思いました。

○ 自校自賛

私は学校のよいところを見つけたいと思っています。それをここで自慢したいと思っています。学生たちの学ぶ姿・活躍、先生方の工夫・技術、見つけた動植物、美しい色やおもしろい形など、何に眼をとめるか私にも分かりません。楽しみながら見つけたいと思います。活きた学生たちは似顔絵で紹介しようと思います。右上の似顔絵は“私”です。その時の記事のどこかに関連したポーズをとっています。

今回の自賛はKC校の屋上などで育てている植物です。各種ハーブ類やサヤエンドウなどが元気に育っています。チャービルには花が咲いていました。今後カラスとの駆け引きがありそうです。

